

令和6年度 学校経営計画書

学校番号	11	学校名	静岡県立藤枝特別支援学校	校長名	岩附祥子
------	----	-----	--------------	-----	------

1 目指す学校像

(1)教育目標

「ひびき合い、つくり合う」中で、自立に向けて力強く生きる人を育てる。

～ 児童生徒が、教職員や地域の人々、児童生徒同士とひびき合い、より良い学校や地域、それぞれの生活をつくり合う中で、自分らしく、なりたい自分（自立）に向かって、しなやかに取り組み、自分の持てる力を発揮（力強く生きる）できる人を育てる ～

(2)目標具現化の柱「効率的かつ効果的な業務遂行のもとに」

ア 命を守り、人権を尊重した安全・安心な学校づくり

【安全・安心】

教職員が効率よく効果的に業務を行い、児童生徒の学びを支える学校づくり

【安全・安心】

イ 一人一人の確かな成長と発達を積み上げる授業づくり

【授業】

ウ 児童生徒、保護者、地域、関係機関と共に育ち合う学校づくり

【連携】

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）＊「業務改善」についても記入する。

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
ア 安全・安心	命を守る危機管理体制の整備と共有	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時対応の体制整備 様々な想定での訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時での自身の役割が分かり、具体的な行動を考えた教職員100% 担当する医ケア児の緊急時・災害時の用具の保管場所や扱い方についての研修を3回以上実施し、理解した担当者100% ヒヤリハットの報告を自分が担当する活動場面に置き換えて対応を考えた教員100% 	危機管理 生徒指導 保健給食 医ケア主任
	教職員一人一人の人権意識の向上と学校風土の醸成	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の人権を尊重した教育活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒への呼び方（さん付け）や口調、対応が常に人権を尊重したものになっていると答える教職員100% 	生徒指導 学部 学年主任 事務
	自己肯定感や人権意識の高い児童生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階に応じた人権教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育全体計画や実態に応じた年間指導計画の作成 自分や友達が互いに大切な存在であることを学ぶ機会を設定した教員100% 	生徒指導 学部 学年主任
	学習環境の整備と安全点検	<ul style="list-style-type: none"> 非常時や日常的な安全確認の視点からの学習場所における環境の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検、スクールクリーンを効果的に実施し、整理整頓や環境整備のために行動を起こした教職員100% 	総務 学部 学年主任 作業班長

様式第1号

イ 授 業	個別の教育支援計画と個別の指導計画に基づいた授業実践	・「ともに学び、力強く活動する人を育てる」をテーマとする校内研修の実施	・児童生徒の根拠のある実態把握、目標設定、達成するための具体的な場面を共通理解して、その目標達成に向けて取り組んだ教員100%	研修 自立活動 学部 学年主任
			・各教科等を合わせた指導の学習評価を実施できた教員100%	研修
			・各教科等を合わせた指導の授業実践のために、教材研究等の授業準備の時間を前年度より確保した教員100%	教務 研修 学年主任 作業班長
	教職員の専門性の向上	・教材教具やICT機器の整理や活用	・教材教具やICT機器を大切に扱い、貸出や使用方法のルールを守って活用した教員100%	情報教育 研修 自立活動 体育 図書学習
		・藤特版キャリアステージ研修の実施	・各種研修や自分からの学びを積極的に活用し、自身の指導力向上につなげた教員100%	図書学習 研修 各分掌
ウ 連 携	学習と経験のつながりを意識したキャリア教育の実施	・「キャリア教育の手引き」の活用についての理解	・「キャリア教育の手引き」を活用して生活年齢に応じた授業（日生、特活、道德等）を行った教員80%以上	キャリア教育 学年主任
		・保護者や関係機関と連携した支援体制とキャリア教育の実施	・懇談会や支援会議等の資料に活用した学年主任100%	学年主任 地域連携 キャリア教育
	地域資源を活用した共生社会の実現を目指し、保護者、関係機関、地域との連携・協同体制の充実	・学校間交流、「交流籍」を活用した交流及び共同学習の充実	・交流関係者（相手校・保護者・担当者）が目的を理解して実施、参加し、その後保護者に対して地域での活動の紹介をした教員70%以上	地域連携
		・作業製品の販売、作品等展示、HPの更新や積極的なボランティアの受け入れ等地域への積極的な発信	・本校の良さを理解してもらうための工夫をして、効果的に情報発信をした教職員90%以上	学部 図書学習 地域連携 情報教育 管理職
		・コミュニティースクールを活用した地域との共同活動の実施	・学校運営協議会制度への理解が進んだ教職員100% ・地域とつながる授業を計画した学年主任等90%以上	企画会 地域連携 学部 学年主任